えっ、6週間を秒で表すと「10!」秒!?

先日の中日新聞の‘ウケる数学’の掲載されていて面白いなぁと感じたのでご紹介します。
「１日は何時間？」とか「１時間は何分？」と聞かれたら、だれでもすぐに答えられますが、「１日は何秒？」と聞かれて直ぐに答えられる人はほとんどいないことでしょう。

まず１分は６０秒なので、１時間(６０分)だと 60 秒×60 分＝3,600 秒、さらに 24 時間だと 3600 秒×24 時間＝86,400 秒となります。

さらにタイトルにある通り、６週間だと何秒になるでしょうか？6 週間は６×7 日だから時間に直すと 6×７×24 時間となります。これを分に直すと×６０、さらに秒に直すと×60 です。ということは６週間を秒に直すと、６週×7 日×24 時間×60 分×60 秒となる訳です。

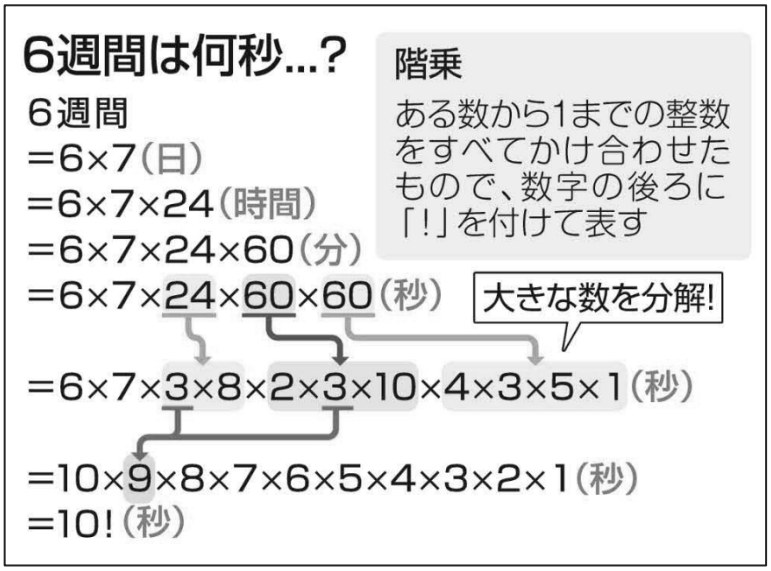
そして、面白いのはココからなのですが、24 を 3×8、６０を２×３×１０や 4×3×5×１というようにバラバラに分解してから整理して並び替えると、１０×９×８×７×６×５×４×３×２×１となります。

＊こうした計算を**階乗（かいじょう）**といい「**10!**」のように表します。

この先、もしもだれかから「6 週間って何秒か知っている？」と聞かれたら（絶対ないでしょうけど…）、即効で「10 の階乗だよ」と答えられたら‘すげぇっ！’と称賛されるかもしれませんよ。

さらに計算を続けると、
（１１！）秒は６６週間で約１年３カ月
（１２！）秒は７９２週間で約１５年２カ月
（１３！）秒になると１９０年を超えます。

人間の一生は１３！秒より短いと考えると、何だか不思議な感じがしますね。
興味のある人は、そろばんを使用して自分で確かめてみてはいかがですか？
＊ちなみに、階乗が！（ビックリマーク）なのは数字が大きくなるにつれて値が「驚くほど大きくなる（びっくりするほど増える）から」…という説があるようです。



アバカス・サーキット第 330 戦（9 月大会）成績



F1 ☑ F1 は 100 点以上の更新者
まずは 100 を目指し文鎮をゲットしよう!

F2 ☑ F2は 150 点以上を取れば自動的に F1 へランクアップ!

F1 自己記録 更新者（全参加者4445名）

氏 名	得点	UP点	学年	学年別 順位（上位%）	学年別 学年人数
吉田 花凪	180	+6	小5	245（28%）	881
中末 妃愛	166	+10	中二	202（67%）	302
徳升 瑞樹	127	+13	小5	486（55%）	881
興梠 陽紀	122	+12	小5	516（59%）	881
中末 結花	117	+13	小6	561（70%）	800
飯田 悠華	116	+16	小6	566（71%）	800
松元 愛実	112	+2	小6	580（73%）	800
山中 芽唯	105	+1	小5	596（68%）	881

F2_150点達成者（参加者1246名）

順位	氏 名	学年	得点
62	陶山 怜央	小5	152

＊多くの生徒が F2 の合格点（150 点）はわりと短期間で達成します。
＊F1 の最初の壁は１００点、まずはココを乗り越えるために大半の生徒がとても苦労します。まず３ケタ×２ケタのかけ算を暗算で出来るようになるまで繰り返し練習し、点数が安定してきたら次は答えが３ケタとなる割り算を暗算で始めます。
＊今月（１０月）からは後半戦のスタート。各自の目標に向かって前進していこう